

読売新聞 きょう（11月28日）のイチ押し

一面 チケット販売 マイナ活用

政府が、プロスポーツやコンサートのチケット販売にマイナンバーカードの活用を検討していることがわかりました。購入時と入場時に本人と確認し、第三者への高額転売を防ぐ狙いです。すでに、チケット販売にマイナカードが使えるかの実証実験をしており、課題を検証して早期導入を目指します。

- ★本人であることを証明する電子証明書機能を使う仕組みです。チケット購入時に利用者がマイナカードをスマートフォンにかざし、内蔵のICチップを通じて情報を確認します。入場時もカードをかざして第三者ではないかを調べます。
- ★イベントチケットを巡っては、2019年にチケット不正転売禁止法が施行され、営利目的での転売が禁じられました。しかし、その後もネット上で高値転売する事例が後を絶たない状況です。

一面など W杯 日本黒星

サッカーの世界カップ（W杯）カタール大会で27日、日本代表はグループリーグE組第2戦でコスタリカ代表と対戦し、0-1で敗れました。日本は再三の好機を生かせず、終盤の81分にミスからボールを奪われて決勝点を許しました。初戦でドイツから金星を挙げた日本は1勝1敗となり、勝ち点は3のまま。12月1日午後10時（日本時間2日午前4時）から行われるスペイン代表との第3戦で、2大会連続4度目の決勝トーナメント進出をかけることになりました。スポーツ面、社会面にも記事を載せています。

他紙と比べて

近年、大雪による「雪害」で車の立ち往生が頻発するなか、情報通信技術（ICT）や人工知能（AI）を活用することで、対策の迅速化や除雪の効率化に期待がかかっています。国土交通省は2021年度から、道路の監視カメラの画像解析にAIを使用。車両の速度などを読み取り、立ち往生が発生しそうな現場を自動検知する仕組みを導入しました。除雪車などを急派し、被害を最小限に抑えます。東日本高速道路は北海道で、ハンドルやアクセルなどの操作が不要な除雪車の「自律走行」の実証実験を進めています。実現すれば人手不足対策にもなります。きょうの「減災」のページで、こうした取り組みをイラストも使って詳しく紹介しています。